

別紙2

臨個票入力プラットフォーム構築 要求仕様一覧 (B案)

要件		数量	要求仕様
ハードウェア機能要件			
ハードウェアなし			
ソフトウェア/ミドルウェア機能要件			
1	ソフトウェア共通	-	
1	1	ライセンス	OSSを利用する場合、再配布可能なライセンス形態であること。
2	2	保守サポート	OSSを利用する場合、契約期間中はセキュリティパッチ等の提供が受けられること。
2		臨個票入力フォーム	1
3	1	ドキュメント指向データベース機能	NeDB相当のファイルベースドキュメント指向データベースを利用可能であること。
4			JSONなどの半構造データを扱えること。
5			データベースファイルの内容を保護できること。
6	2	リレーショナルデータベース機能	Sqlite相当のファイルベースリレーショナルデータベースを利用可能であること。
7			データベースファイルの内容を保護できること。
3		データ整理表自動修正	1
8	1	ドキュメント指向データベース機能	ファイルベースドキュメント指向データベースを利用可能であること。
9	2	リレーショナルデータベース機能	ファイルベースリレーショナルデータベースを利用可能であること。
入力アプリケーション機能要件			
1		臨個票入力フォーム	1
10	1	基本要件	全国医療機関のPC端末で使用可能な汎用性の高い入力アプリケーションであること。
11			PC端末のOSの種類、バージョンへの広範囲な適応性を有すること。
12			HTML5、JavaScript、CSSなどのWeb技術を使用したユーザインターフェースを有すること。
13			入力デバイスを選ばないこと。
14			各操作のログを記録できること。
15	2	認証・認可機能	ログインID、パスワードによる認証機能を備えること。
16			権限設定により、ログインID毎に利用可能な機能を制限できること。
17	3	疾病データ管理機能	入力データの管理機能(登録、編集、削除、検索、閲覧)を有すること。
18			入力データを保管するためのデータベース機能を有すること。
19			入力データはJSON形式データで管理すること。
20			入力データは個々のPC端末上に作成されるファイルベースドキュメント指向DBに保管すること。
21			患者の基本データから、同一患者の前回申請時の入力データを紐付けて呼出が可能なこと。
22			短期間(15か月)、入力データの保持が行なえること。
23			保管期間が過ぎたデータを自動削除する機能を有すること。
24			患者データの二次利用にかかる患者本人の同意取得の有無を記録できること。
25			入力データをデータベースに格納する際に暗号化すること。
26			医療機関の基本情報を登録できること。また、登録した基本情報を入力時に呼び出せること。
27			入力者(指定医)の基本情報を登録できること。また、登録した基本情報を入力時に呼び出せること。
28	4	疾病データ送信機能	入力データをJSON形式で難病DBシステムへ送信できること。
29			入力データは暗号化して送信すること。
30			難病DBシステムへのデータ送信時、HTTPSにより通信経路を暗号化すること。
31			検索による絞り込み等により、送信するデータをユーザが指定できること。
32			複数の入力データを一括送信できること。
33			データ利活用に不同意の入力データを送信できないようにロック等の仕組みを設けること。
34			難病DBシステムへ送信した入力データを識別できること。
35	5	疾病データエクスポート機能	ネットワークを介さずに入力データを難病DB管理者へ送付するため、入力データをJSON形式ファイルで出力ができること。
36			入力データは暗号化して出力すること。
37			検索による絞り込みにより、出力するデータをユーザが指定できること。
38			複数の入力データを一括出力できること。
39			データ利活用に不同意の入力データを出力できないようにロック等の仕組みを設けること。
40			ファイル出力した入力データを識別できること。
41	6	電子カルテインポート機能	医療機関が保有する電子カルテからSS-MIX2形式で出力されたデータをインポートする機能を有すること。
42			ユーザが指定したフォルダに格納されたSS-MIX2形式データを読み込んで入力データのJSON形式に変換できること。変換後、入力データと同様にファイルベースドキュメント指向DBに保管すること。
43			指定フォルダ内のSS-MIX2形式データを一括してインポートできること。
44			SS-MIX2形式データは臨個票入力フォームがアクセス可能なディレクトリへ出力されることを前提とし、臨個票入力フォームは医療機関の電子カルテシステムと直接接続しないこと。
45			変換エラーなど、インポート処理の実行結果をログに記録すること。また、ログを検索、閲覧するためのインターフェースを提供すること。
46	7	疾病定義管理機能	入力フォームの入力項目形式やデータチェック等の疾病定義情報は、疾病毎にJSONデータとして定義すること。
47			疾病定義JSONはファイルで管理できること。
48			疾病定義JSONの定義情報を元に、疾病データの入力フォームを生成できること。
49			疾病定義JSONの定義を変更により入力フォームの表記内容・レイアウトの変更が行えること。

要件		数量	要求仕様
50			疾病定義JSONの定義情報のバージョン管理が行えること。 これにより複数のバージョンの疾病定義を扱えること。
51			ユーザが疾病定義JSONファイルを追加、更新するためのインターフェースを提供すること。
52	8 臨個票出力機能		データが記入された入力フォームを医療費審査用の帳票(臨個票)として出力できること。
53			医療費審査用の帳票(臨個票)はPDF形式とすること。
54			疾病定義JSONの定義情報を元に臨個票印刷用レイアウトを生成できること。
55			医療費審査用の帳票(臨個票)にユニークなIDを付与できること。
56	9 ヘルプ機能		指定医等への入力ガイドを表示できること。
57			入力時に注意すべき項目、入力方法、便宜数値・単位などを入力フォーム上でポップアップ表示すること。
58	10 ユーザ管理機能		臨個票入力フォーム使用ユーザの管理機能(追加、編集、削除、検索、閲覧)を有すること。
59			ユーザ管理機能を利用できるユーザを制限できること。
60			ユーザ情報およびパスワードは個々のPC端末上に作成されるファイル、データベースDBに保管すること。
61			ユーザにより、自身のユーザ情報およびパスワード変更の変更が行えること。
62	11 簡易バックアップ機能		入力データ等を格納しているファイルベースドキュメント指向DBのバックアップが行えること。
63			ユーザ情報等を格納しているファイルベースリレーショナルDBのバックアップが行えること。
2	データ整理表自動生成アプリケーション	1	
64	1 基本要件		PC端末のOSの種類、バージョンへの広範囲な適応性を有すること。
65			HTML5、JavaScript、CSSなどのWeb技術を使用したユーザインターフェースを有すること。
66	2 臨個票入力フォームレイアウト作成機能		入力項目パーツを配置することで入力フォームのレイアウトが行えること。
67			入力項目パーツデータおよびレイアウトデータはJSONデータとして管理すること。
68			レイアウトデータはPC端末上に作成されるファイルベースドキュメント指向DBに保管すること。
69			疾病定義JSONを読み込んで入力フォームレイアウトの変更が行なえること。
70			入力項目パーツの追加、変更が行えること。
71	3 データ整理表自動生成機能		レイアウトデータから難病DB設計用データ整理表を生成できること。
72			レイアウトデータから疾病定義JSONを生成できること。